

**製品名: TLR5 (13A4) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe18989**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	98kDa

**抗原情報**

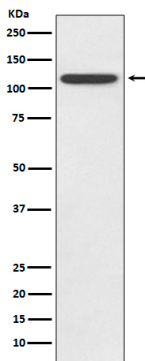
遺伝子名	TLR5
別名	SLEB1; TIL3; Tlr5; Toll like receptor 5 precursor;
遺伝子 ID	7100.0
SwissProt ID	O60602
免疫原	ヒト TLR5 の組み換えタンパク質

**背景**

ショウジョウバエ Toll 受容体の 6 つのヒト相同遺伝子は、配列類似性に基づいて最初に同定され、Toll 様受容体 (TLR) と命名されました。微生物に対する自然免疫応答に関与します。細菌性フラジェリンの検出を媒介します。MYD88 および TRAF6 を介して作用し、NF- $\kappa$ B の活性化、サイトカイン分泌、炎症反応を引き起こします。細胞表面に存在するパターン認識受容体 (PRR) は、自然免疫および炎症反応の活性化に関与します (PubMed:11323673、PubMed:18490781)。病原体によって発現される病原体関連分子パターン (PAMP) および常在微生物によって通常発現される微生物関連分子パターン (MAMP) と呼ばれる小さな分子モチーフを認識します (PubMed:29934223)。細菌性フラジェリンなどのリガンドと結合すると、細胞内アダプタータンパク質 MYD88 および TRIF をリクルートし、NF- $\kappa$ B の活性化、サイトカイン分泌、炎症反応の誘導につながります (PubMed:20855887、PubMed:11489966)。これにより、腸管上皮と腸内細菌叢の関係において重要な役割を果たし、生涯を通じて腸内細菌叢の構成に寄与します (相同性による)。

## 研究分野

## 画像データ



HeLa 細胞溶解物中の TLR5 発現のウェスタン プロット分析。